

平成 30 年度予算総括質疑の概要

平成 30 年第 1 回二宮町議会定例会

日時：平成 30 年 3 月 6 日（火） 午前 9 時 30 分より

No.	質問議員	質問の概要
1	二宮 節子議員	<p>30 年度予算総括質疑 中期基本計画の最終年度の予算でもあり、村田町政 1 期 4 年の最終年度の予算の総括質疑を行ないます。</p> <p>中期基本計画では、基本構想に掲げる「まちづくりの力」、「地域の力」、「自治体経営」の 3 つの力の連携を更に進め、「子育てしやすい町」、「暮らしやすい町」、「住んで良かった町」、を実感できる町づくりに重点を置きスタート致しました。この間、消滅可能性都市に名を連ねる二宮町では、人口減少による、町税の減収が止まらず、今後もこの流れは続くと、予測される中、特色ある事業を施され、町民が、健康で安心して暮らせるとの町長の思いが、持続可能な自治体を求める町民意識と同等であるのか伺ってまいります。</p> <p>1、町長の施政方針について 30 年度施政方針で今年度は、これまでに取り組んできた施策をしっかりと進め、10 年先、20 年先を見据えるとあります。しかし、現在、町が抱える問題は長期的な問題ばかりでなく、税収の確保や人口減少問題、そして子育て世代の転入など短期・中期・即時の対応が求められる事案が山積しています。そこで伺います、この 3 年間で取り組まれてきた施策の達成と満足度を、どの様に評価し課題を今後の町政運営に反映するのか所見を伺います。</p> <p>次に、耐震補強で安全の確保ができないことから、緊急防災時に業務継続ができる拠点として、新庁舎建設の決定がされました。事業手法や、経費については確定はしておりませんが、「市町村役場機能緊急保全事業債」を起債ができる平成 32 年度までに、どの様に進めていかれるのか伺います。</p> <p>また、起債をするということは、返済が始まります。そこで持続可能な行政運営について、今後どの様に取り組まれるのか伺います。</p> <p>2、総合戦略の基本目標 1 の「安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる」について 団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年がすぐそこまで近づいてきております。今年度の新事業のなかに、認知症初期集中支援チームの立ち上げや在宅医療など高齢化時代に寄り添った施策があり、町民総ぐるみとの冠がついていますが、国が示している一億総活躍社会との違いと町長が考える町民総ぐるみについてご見解を伺います。</p> <p>3、基本目標 2 「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人流れをつくる」について 子ども子育てに力を入れてきましたが、後継者を呼ぶ施策が、功を奏しているのでしょうか。子供が少ない現在、選ばれる町の条件として教育環境の充実が、少なからず影響を及ぼすことと考えます。今年度は教職員のみタブレット導入ですが、今後の ICT 環境の充実と論理的思考や創造性、問題解決能力等の向上が期待できるプログラミング教育に対する町長の見解を伺います。</p> <p>4、基本目標 2 の「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」について 3 点伺います。 ①国立社会保障・人口問題研究所によりますと、親との居住距離が近いほど出生する子どもの数が多くなる傾向があるとのこと。如何に子育て</p>

		<p>支援が重要なことであることが、がわかる内容です。子育て世代包括支援センターの充実は必須で、今後どの様に充実させていくのか伺います。</p> <p>②新たな広域事業となる、大磯町と連携した病後児保育事業がスタート致しますが、料金などを含めて、内容を伺います。</p> <p>③不妊助成について伺います。高額な治療費である為、一人目が治療で授かったとしても、二人目には治療費が出せないというのが実情です。出産の前に妊娠が必要です。この点を踏まえて町長の見解を伺います。</p> <p>④ラディアンへ公衆無線 LAN を導入致しますが、新しい人の流れを作るのに、相応しい 2020 年に行われるオリンピック・パラリンピックへの観光客を見据えて吾妻山公園には設置しないのでしょうか。</p> <p>また、広域で「自転車シェアリング事業」を行う湘南地域自転車観光推進協議会が 12 月に行われています。今後、どの様に関わっていくのか伺います。</p> <p>5、基本項目 3 の二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」について 2 点伺います。</p> <p>①地球温暖化防止対策の再生可能エネルギー事業は、なかなか進展が見られません。二宮町単独でこれからも考えるのでしょうか。次世代エネルギーパークとして、広域連携型や拠点集中型などがあります。この先の取り組みは、広域化など視野に入れて進めるのか、見解を伺います。</p> <p>②オリーブブランドの確立とは、販路の拡大だけでしょうか。植え付けの目標など、将来的に就労を生み出せる計画を伺います。</p> <p>以上よろしく願いいたします。</p>
2	添田 孝司議員	<p>1. 財政ゼロからの見直しについて</p> <p>平成 30 年度予算案は村田町政 1 期最後の 4 度目の予算案だ。各年度の施政方針ではそれぞれ予算のキャッチコピーがつけられている。平成 27 年度は「未来に繋げるまちづくり!」、平成 28 年度は「住んで良かった! を体感できるまちづくり」、平成 29 年度は「ずっと住み続けたいまちづくり」、そして平成 30 年度は「住んで安心、暮らしを楽しめるまちづくり」だ。過去 3 年ではそれらのキャッチコピーの取り組みに向け、町長の一歩目の公約であった「町の財政をゼロから見直します」に基づいて、「選択と集中を図り」、「必要な施策について選択と集中の視点をもって見直し」、「「ゼロから」全ての事業を検証し、身の丈に合った、徹底した合理化策を講じ、中・長期的な視点に立ち、改革を推進」とある。ところが平成 30 年度のキャッチコピーへの取り組みには政策・事業の見直し等が示されていない。これは財政のゼロからの見直しは完了したということか。また過去 3 年間の成果は何であったのか。</p> <p>2. 任期中の町長退職金の廃止について</p> <p>平成 30 年度予算書一般会計で村田町長退職金負担金約 257 万円を含む県市町村職員退職手当組合負担金 1 億 2 千 2 百 94 万円が計上されている。過去 3 年も同様に町長退職金分が負担金として支払われた。村田町長の公約である町長退職金の廃止はどうなっているのか。</p> <p>3. 公共施設再配置・町有地有効活用について</p> <p>役場庁舎整備については、村田町政では、公共施設再配置・町有地有効活用において、検討委員会等で他施設と一緒に検討してこなかった。ところが本年 2 月に「二宮町役場庁舎整備手法調査報告書」が提出された。「二宮町公共施設再配置に関する基本方針」の 3 つの基本方針の一つは“施設の更新（建替）は複合施設とする”である。本報告書の作成は複合施設とする前提となっておらず基本方針を逸脱している。役場庁舎は公共施設の中で最も重要性が高い。このような単純な調査結果で計画策定をしてよいとは思えない。また一年かけ、470 万円（予算）をかけた調査結果は多くの人が想定したものと変わらなかった。むしろ検討委員会等で検討すべきものであった。他施設と伴に検討してこなかった理由は何か。調査報告書に基づいた庁舎整備を計画するのか。</p>

		<p>また学校についても検討委員会等で検討除外となっている。コミュニティースクールや小中一貫教育が先行して検討されているが、学校統合検討の必要性も町民の間では議論されている。学校用地として可能な東大跡地の有効利用にも関係する。体育館や空き教室の利用もある。保育園との複合化の可能性についても議論している。なぜ総合的に検討委員会等で議論しないのか。</p>
3	渡辺 訓任議員	<p>平成 30 年度予算案および施政方針について以下の点について所見を問う。</p> <p>①経済情勢の認識の中で「住民生活の実感としてその影響が隔々まで行き渡っているとは言いきれず」とされている。国全体に貧困化が進んでいるとの認識もある。町として生活保護を必要とする世帯数とその捕捉率は把握されているのか。 受給額が減ることで児童の就学援助の基準に影響する可能性があるが、どの程度の影響を見込んでいるか。他にも、生活保護受給額が減ることが影響する事業はあるか。町として、基準が厳しくなり対象から外れる・支援額が減るなどが起こった場合、どのように対応するのか。</p> <p>②子ども子育て支援策を多く実現してきたことは評価される。今後、さらに以下のように、経済的な支援策を充実させることが重要であると考えますが、町としてどう位置付けるか。 ・子ども子育て支援の一部として、小児医療費の無料化を中学校まで拡大した。しかしながら、所得制限は残されており、この撤廃に対する要望は強い。適用年齢の高校卒業までの拡大と合わせて、小児医療費無料化について拡大は検討されないか。 ・国民健康保険税については、均等割の減額は検討されたか。子ども一人として均等割が課される。これでは、無料化と言っても一人あたり 5000 円を払っている状況であり、子どもが増えれば増えるだけ負担が重くなる。 ・保育所待機児についての今年度の見通しはどうか。 さらに、学校施設・学習環境の充実も求められている。エアコン設置は特別教室に留まっている。ICT 教育環境の整備、学校プールと合わせて、教育環境格差とも言われる。これらについてはどう取り組んで行くのか。</p> <p>③高齢者福祉では「地域の通いの場」を含め、高齢者が地域の中で生き生きと暮らすことのできるような施策、医療と介護の一体的な支援、認知症対応の施策が盛り込まれているが、施設介護は引き続き重要な高齢者福祉の柱であると考えます。施設介護のニーズと対応についての認識はいかがか。</p> <p>④施政方針では、学校規模の適正化と地域コミュニティの醸成の二つが掲げられている。学校地域コミュニティの核として、小中学校を位置づけるのであれば、この二つは相容れない可能性がある。それぞれをどのように位置づけ、統合、さらに町民の合意を作っていくのか。</p> <p>⑤働き方改革について、一般的に関心が広がっている。第 4 次行革大綱で「人材育成の推進」が取り上げられ、人材育成計画が策定されるなど、人材育成の観点での施策が進められて来た。職員の「働き方」については「方向性と具体的な目標についてどのように考えているのか。</p> <p>⑥駅前町民会館の廃止後の利用について、収益性のある駐車場について言及されているが、柔軟性を持って運営にあたることについてはふれられていない。収益性のみが強調されることに心配をする声もある。駅前町民会館の廃止後について活用の方向性・ビジョンはどのようなものか。</p> <p>⑦庁舎移転の財源の確保について、どのような見通しを持っているのか。 町の財政状況は常に厳しいと言われているが、臨時財政対策債の発行枠を毎年残している状況である。臨時財政対策債については歳入の中に積極的に位置づけ、活用すべきではないか。</p>

		<p>⑧エネルギーの地産地消、自然エネルギーの活用については、温暖化対策事業化実施研究会が、効果が期待される導入支援策の提案と3つの提言（再生可能エネルギー協議会の設立、行政が再生可能エネルギー由来の電力需要を担うこと、再生可能エネルギーの普及啓発に係る人材発掘と支援）を行っているが、来年度はどのように進めて行くのか。</p> <p>⑨任期中の退職金の廃止について、昨年3月議会では退職金組合加入市町村の理解を得ることが難しいという答弁を得ている。いよいよ、町長の任期について8ヶ月を残すということになった。現時点での見通しはどうか。</p>
4	前田憲一郎議員	<p>平成30年度の当初予算編成状況を見ると、一般会計において歳入の柱となる町税は生産年齢人口の減少に伴いマイナス1.1%となり、歳入見通し額は、76億1千万円、平成29年度当初予算76億7千6百万円と比較し、6千6百万円のマイナス、前年比マイナス0.9%となり、3年連続のマイナスと昨年にも増して一層厳しい状況下におかれており、町長の施政方針を拝聴すると、大変な苦心に苦心を重ね合わせ熟慮された上での予算編成であるという事は十分評価いたし認識しているところではございますが、平成30年度予算編成方針についてをみると、平成29年度の予算編成方針と比べあまり変わり映えがせず、予算査定は、引き続き「一件査定方式」により実施する。ただし、経常的経費のうち物件費と補助費等については、ゼロシーリングを設定することとしたので、予算要求にあたってはこれを念頭に置くこと。とされ、新たに、公共施設に関する予算は「公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」、「公共施設等総合管理計画」に基づく必要な施策を推進するため、長期的な視点に立ち、かつ実現可能性を担保とした予算要求とすることとされ、前年を踏襲した予算要求を繰り返すような姿勢は、一切許容されないことを認識することが必要です。とされており、また、事業を平準化することなどの工夫を凝らし無理のない予算とする反面、事業によっては効果や経済性を勘案した上で、集中的に投資するなど、予算全体を俯瞰し、メリハリをつけ、限られた財源を配分することとします。とあり、平成30年度重点施策について多岐にわたり述べられ、予算資料のポイントとして挙げられている「住んで安心、暮らしを楽しめるまちづくり」町民の安全・安心の確保と利便性の向上を図るため、役場庁舎の移転・整備に向けた計画を策定します。また、人口減少や少子高齢化が進行する中でも、一人一人の町民の方が、それぞれの持てる可能性を実現し、自分らしい暮らしを楽しむことができる、選ばれるまちづくりに取り組みます。と上げられていますが、庁舎移転・整備に向けた基本構想・基本計画の策定には1千万円が予算化され、閉鎖する駅前町民会館の方向性も出され、その他の項目にも予算がついているものの、平成30年度の構成比を見ると平成29年度と比較し、消防車の購入が済んだ消防費の減はわかるのですが、道路補修工事、歩道整備に向けた事業が上げられているにもかかわらず中里第一架道橋長寿命化の大型工事が終了したことによる土木費の減、生涯学習センターラディアンに無線ラン導入など多額の経費をかけ、学校環境の充実を図るためICT教育の環境整備、平成29年度に引き続き冷暖房設備を整備していくにもかかわらず教育費の割合が8.7%と昨年同様で相変わらず低いなど代わり映えがあまりせず、どこに集中的に投資し、予算全体を俯瞰し、メリハリをつけた予算であるのかが見えてこない。県内の各自治体の予算編成の公表と比較すると、二宮町の公表はわかりやすい記載になっているところは評価致すところではあります。次の点について答弁をお願いします。</p> <p>①平成29年度の各事業の昨年10月1日現在の中間評価が示されているが、この評価を鑑み検討された上での平成30年度の予算編成なのですか。経費の削減は困難となっている事業が多いわけなので検討をされた上での予算編成であるならば、その点についてどのような検討をされたのか伺います。</p> <p>②事業によっては効果や経済性を勘案した上で、集中的に投資するなど、予</p>

		<p>算全体を俯瞰し、メリハリをつけ、限られた財源を配分することとします。とありましたが、どこに集中的に投資されたのか。伺います。</p> <p>③総合戦略に係る施策・プロジェクトの基本目標、その他の重点施策事業に対し、平成 30 年度も数多くの新事業が挙げられていますが、この予算配分では挙げられている新事業をすべて効果的、効率良く展開していくことが可能であるとは思えない点があるのでどのように展開していくおつもりか。伺います。</p> <p>④この予算案のポイントである「住んで安心、暮らしを楽しめるまちづくり」に対し、この予算案でどこに反映されているのか。伺います。</p> <p>⑤平成 29 年度の予算に対し、執行残不用額について質問し、予算内容に基づき予算を執行した結果、当初見積した予算額より少ない予算額で同じ効果を得ていることであり執行残が、すなわち問題であるとは捉えておらず、むしろ行政改革の意図する方向に沿いながら、一定の成果であります。とご答弁されていましたが、当初予算の 2・3 割減で、執行できた事業もあります。執行残が出ることは当然のことであり、安価でできるにこしたことはありませんが、この件は予算編成の段階での方式に問題点があったのではと思うわけですが、平成 30 年度の事業においては、予算に対し極端に安価になるということはありませんか。伺います。</p> <p>以上 5 件町長より具体的な答弁をお願いいたします。</p>
--	--	--

備考：2 番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。
 本人の通告書の原稿を転記したものです。